

慣用句(かんきょうご)を



二つ以上の言葉が合わさって特別な意味になる言葉のことを「慣用句(かんきょうご)」と言います。慣用句はたくさんあって、それぞれの意味を知っておくことで、表現の幅がひろがりますよ。

慣用句には体の部分を使ったものが、数多くあります。次の□の中にあてはまる字を書き入れましょう。 □ からえらんで

□ が軽い

* 言ってはいけないことを言ってしまうこと

□ から火が出る

* 頭を強くぶつけたときなどに受ける感覚のこと

□ をなでおろす

* 安心しほっとするようす。

□ がぼつになる

* 歩き続けたりして、足がひどくつかれること

□ の荷がおりる

* 責任を果たして楽な気分になること

□ が切れる

* 頭の回転が速く、てきぱきと事を行うこと

□ をつつこむ

* 仲間に加わったり、その事に関係すること

目 □ 肩(かた) 頭 首 足 手 耳 胸(むね)

頭

頭がいたい

頭がかたい

頭が下がる

頭に入れる

頭に血がのぼる



頭をかかえる

頭を上げる

頭を冷やす

頭に来る

鼻

鼻が利く

鼻が曲がる

鼻息があらう



鼻が高い

鼻を持たす

目

目が利く

目がさえる

目を落とす

目頭を押さえる



目が肥える

目をうたがう

目をおおう

耳

耳が痛い

耳をうたがう

耳をすます



耳がはやい

耳を貸す

聞き耳をたてる

口

口がうまい

口が軽い

口をすべらせる



口が重い

口が肥える

口を出す

体の部分を使った慣用句はまだまだあるよ。どれくらい分かるかな。(顔編)



慣用句はその字が持つ本来の意味とは違った、特別の意味を表すものです。意味を知り、日記を書くときやスピーチをするときなど、進んで使ってみましょうね。



慣用句には体の部分を使ったものが、数多くあります。次の□の中にあてはまる字を書き入れましょう。



からえらんで

口が軽い

*言ってはいけないうことを言ってしまったこと

目から火が出る

*頭を強くぶつけたときなどに受ける感覚のこと

胸をなでおろす

*安心してほつとするように。

足がぼつになる

*歩き続けたりして、足がひどくつかれること

肩の荷がおりる

*責任を果たして楽な気分になること

頭が切れる

*頭の回転が速く、ときはきと事を行うこと

首をつっこむ

*仲間に加わったり、その事に関係すること

目 口 肩 (かた) 頭 首 足 手 耳 胸 (むね)

体の部分を使った慣用句はまだまだあるよ。どれくらい分かるかな。(体編)



手



手が空く
手がとどく
手に負えない
手を打つ
手に汗にぎる

手が出ない
手にあまる
手につかない
手をかえす

足



足が出る
足を洗う
足を運ぶ

足に任せる
足をすくう
足を引っ張る

肩



肩を怒らす
肩をすくめる
肩を並べる

肩を貸す
肩をすぼめる
肩を持つ

胸



胸が痛む
胸がつかえる
胸を打つ

胸がおどる
胸におさめる
胸をこがす

腹



腹が黒い
腹が立つ

腹が据わる
腹を決める

腰



腰がある
腰を落ち着ける
腰を抜かす

腰が重い
腰を据える
腰を落ち着ける